

平成 29 年 10 月 20 日

講演会のご案内

主催：公益財団法人日本関税協会神戸支部

演 題： 日本酒輸出への提言

講 師： 近畿大学経営学部 教授 ^{かつ} ^た ^{ひで} ^き 勝 田 英 紀 氏

< プロフィール >

1982年3月、大阪外国語大学インドネシア語学科卒業。同年4月、小野薬品工業株式会社入社。国内営業を6年間、海外営業・海外契約関係・輸出入貿易業務を12年間担当し(この間大阪市立大学第2部商学部卒業)、2000年に退職。貿易アドバイザーとして独立する。大阪市立大学、立命館大学等にて非常勤講師を務め、2005年大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。2006年より近畿大学経営学部商学科助教授に就任し、2009年より現職。大阪税関、大阪国税局、ジェトロ、日本経営協会等において貿易実務の講演・セミナーを10年以上にわたり実施している他、京都府舞鶴港利用促進委員会委員長なども務めている。資格：ジェトロ認定貿易アドバイザー、通関士国家試験、日商商業英語検定A級合格。

日 時：平成29年11月22日(水) 15:00~16:30

場 所：神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4F 瑞天の間
神戸市中央区波止場町5-6 TEL078-325-8111

<講演の要約>

日本の農産物ビジネスは輸入超過であり、このままでは日本の農業が崩壊してしまう。この危機を打開するために、政府は農林水産物輸出を2020年に1兆円にすることを目標に掲げています。2013年に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことから、和食の材料である日本産品の輸出が伸びており、ジェトロや農林水産省のバックアップもあり、特に日本酒の輸出が伸びています。フランスのワイン輸出から考えると、日本酒の輸出は5,000億円ぐらいにはなると考えています。神戸税関管区内の兵庫県および中国四国地域には名だたる酒造メーカーがあるため、この地域の日本酒を欧米へ輸出してゆくことが大切と考え、日本酒の輸出マーケティングの一助となることをお話ししたい。

<参加申込み> 講演会への参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上**11月2日(木)**までに当支部宛にFAX(078-327-2498)で申込み下さい。※参加費用は無料です。

<問合せ先> 公益財団法人日本関税協会神戸支部 TEL: 078-332-5011

参加申込書

参加申込書			
貴社名			
TEL			
参加者お名前			